



WWN プール

- [WWN プール, on page 1](#)
- [WWN プールの作成, on page 2](#)
- [WWN プールの削除 \(6 ページ\)](#)

WWN プール

ワールドワイド名 (WWN) のプールは、Cisco UCS ドメイン Cisco UCS ドメイン内のファイバチャネル vHBA で使用される WWN の集合です。次の独立したプールを作成します。

- vHBA に割り当てられる WW ノード名
- vHBA に割り当てられる WW ポート名
- WW ノード名と WW ポート名の両方



Important

A WWN pool can include only WWNNs or WWPNS in the ranges from 20:00:00:00:00:00:00 to 20:FF:00:FF:FF:FF:FF or from 50:00:00:00:00:00:00 to 5F:FF:00:FF:FF:FF:FF. その他の WWN 範囲はすべて予約されています。ファイバチャネルトラフィックが Cisco UCS インフラストラクチャを介して送信されると、送信元 WWPNS は MAC アドレスに変換されます。送信元マルチキャスト MAC アドレスに変換可能な WWPNS プールを使用することはできません。SAN ファブリックで Cisco UCS WWNN と WWPNS を確実に一意にするには、プールのすべてのブロックに 20:00:00:25:B5:XX:XX:XX という形の WWN プレフィックスを使用することをお勧めします。

サービス プロファイルで WWN プールを使用する場合は、サービス プロファイルに関連付けられたサーバで使用される WWN を手動で設定する必要はありません。複数のテナントを実装するシステムでは、WWN プールを使用して、各組織で使用される WWN を制御できます。

WWN をブロック単位でプールに割り当てます。

WWNN プール

WWNN プールは、WW ノード名だけを含む WWN プールです。サービス プロファイルに WWNN のプールを含める場合、関連付けられたサーバには、そのプールから WWNN が割り当てられます。

WWPN プール

WWPN プールは、WW ポート名だけを含む WWN プールです。サービス プロファイルに WWPN のプールを含めると、関連付けられているサーバの各 vHBA のポートに、そのプールから WWPN が割り当てられます。

WWxN プール

WWxN プールは、WW ノード名と WW ポート名の両方を含む WWN プールです。ノードごとに WWxN プールで作成されるポート数を指定できます。プールサイズは、*ports-per-node + 1* の倍数である必要があります。たとえば、ノードごとに7つのポートを指定する場合、プールサイズは8の倍数である必要があります。ノードごとに63のポートを指定する場合、プールサイズは64の倍数である必要があります。

WWNN または WWPN プールを選択するたびに WWxN プールを使用できます。WWxN プールを割り当てるには、その前に WWxN プールを作成する必要があります。

- WWNN プールの場合、WWxN プールは [WWNN Assignment] ドロップダウン リストにオプションとして表示されます。
- WWPN プールの場合、[WWPN Assignment] ドロップダウン リストから [Derived] を選択します。

WWW プールの作成



Important

A WWN pool can include only WWNNs or WWPNs in the ranges from 20:00:00:00:00:00:00 to 20:FF:00:FF:FF:FF:FF or from 50:00:00:00:00:00:00 to 5F:FF:00:FF:FF:FF:FF. その他の WWN 範囲はすべて予約されています。ファイバチャネルトラフィックが Cisco UCS インフラストラクチャを介して送信されると、送信元 WWPN は MAC アドレスに変換されます。送信元マルチキャスト MAC アドレスに変換可能な WWPN プールを使用することはできません。SAN ファブリックで Cisco UCS WWNN と WWPN を確実に一意にするには、プールのすべてのブロックに 20:00:00:25:B5:XX:XX:XX という形の WWN プレフィックスを使用することをお勧めします。

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	UCS-A# scope org <i>org-name</i>	指定した組織の組織モードを開始します。ルート組織モードを開始するには、 <i>org-name</i> として / を入力します。
ステップ 2	UCS-A /org # create wwn-pool <i>wwn-pool-name</i> { node-and-port-wwn-assignment node-wwn-assignment port-wwn-assignment }	<p>指定された名前と目的で WWN プールを作成し、組織 WWN プールモードを開始します。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • node-and-port-wwn-assignment : ワールドワイドノード名 (WWNN) およびワールドワイドポート名 (WWPN) の両方を含む WWxN プールを作成します。 • node-wwn-assignment : WWNN のみを含む WWNN プールを作成します。 • port-wwn-assignment : WWPN のみを含む WWPN プールを作成します。 <p>この名前には、1 ~ 32 文字の英数字を使用できます。- (ハイフン)、_ (アンダースコア)、: (コロン)、および . (ピリオド) は使用できますが、それ以外の特殊文字とスペースは使用できません。また、オブジェクトが保存された後に、この名前を変更することはできません。</p>
ステップ 3	(Optional) UCS-A /org/wwn-pool # set descr <i>description</i>	<p>WWN プールの説明を記入します。</p> <p>Note 説明にスペース、特殊文字、または句読点が含まれている場合、説明を引用符で括る必要があります。引用符は、show コマンド出力の説明フィールドには表示されません。</p>
ステップ 4	UCS A/org/wwn-pool # set assignmentorder { default sequential }	<p>次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • default : Cisco UCS Manager はプールからランダム ID を選択します。

	Command or Action	Purpose
		<ul style="list-style-type: none"> • sequential : Cisco UCS Manager はプールから最も小さい使用可能な ID を選択します。
ステップ 5	<pre>UCS A/org/wwn-pool # set max-ports-per-node {15-ports-per-node 3-ports-per-node 31-ports-per-node 63-ports-per-node 7-ports-per-node}</pre>	<p>WWxN プールの場合、このプール内の各ノード名に割り当てることができるポートの最大数。デフォルト値は 3-ports-per-node です。</p> <p>Note WWxN プールのプールサイズは、ノードごとのポートに 1 を加えた数の倍数である必要があります。たとえば、7-ports-per-node を指定する場合、プールサイズは 8 の倍数である必要があります。63-ports-per-node を指定する場合、プールサイズは 64 の倍数である必要があります。</p>
ステップ 6	<pre>UCS-A /org/wwn-pool # create block first-wwn last-wwn</pre>	<p>WWN ブロック（範囲）を作成し、組織 WWN プール ブロック モードを開始します。ブロックの最初と最後の WWN を <i>nn:nn:nn:nn:nn:nn:nn:nn</i> 形式で指定する必要があります。WWN 間はスペースで区切ります。</p> <p>Note WWN プールには、複数の WWN ブロックを含めることができます。複数の WWN ブロックを作成するには、組織 WWN プール モードから複数の create block コマンドを入力します。</p>
ステップ 7	<pre>UCS-A /org/wwn-pool/block # exit</pre>	<p>組織 WWN プール ブロック モードを終了します。</p>
ステップ 8	<pre>UCS-A /org/wwn-pool # create initiator wwn wwn</pre>	<p>WWNN または WWPN プール用の単一イニシエータを作成し、組織 WWN プールイニシエータ モードを開始します。イニシエータを <i>nn:nn:nn:nn:nn:nn:nn:nn</i> 形式を使用して指定する必要があります。</p>

	Command or Action	Purpose
		Note WWNN または WWPN プールは複数のイニシエータを含むことができます。複数のイニシエータを作成するには、組織 WWN プールモードから複数の create initiator コマンドを入力します。
ステップ 9	UCS-A /org/wwn-pool/initiator # commit-buffer	トランザクションをシステムの設定にコミットします。

Example

次に、sanpool という名前の WWNN プールを作成し、プールの説明を記入し、プールに使用される WWN とイニシエータのブロックを指定し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope org /
UCS-A /org # create wwn-pool sanpool node-wwn-assignment
UCS-A /org/wwn-pool* # set descr "This is my WWNN pool"
UCS-A /org/wwn-pool* # create block 20:00:00:25:B5:00:00:00 20:00:00:25:B5:00:00:01
UCS-A /org/wwn-pool/block* # exit
UCS-A /org/wwn-pool* # create initiator 23:00:00:05:AD:1E:02:00
UCS-A /org/wwn-pool/initiator* # commit-buffer
UCS-A /org/wwn-pool/initiator #
```

次に、sanpool という名前の WWxN プールを作成し、プールの説明を記入し、ノードあたりのポート数を 7 を指定し、プールに使用される 8 個の WWN からなるブロックを指定し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope org /
UCS-A /org # create wwn-pool sanpool node-and-port-wwn-assignment
UCS-A /org/wwn-pool* # set descr "This is my WWxN pool"
UCS-A /org/wwn-pool* # set max-ports-per-node 7-ports-per-node
UCS-A /org/wwn-pool* # create block 20:00:00:25:B5:00:00:00 20:00:00:25:B5:00:00:08
UCS-A /org/wwn-pool/block* # commit-buffer
UCS-A /org/wwn-pool/block #
```

What to do next

- WWPN プールを vHBA テンプレートに含めます。
- WWNN プールをサービスプロファイルとテンプレートに含めます。
- WWxN プールをサービスプロファイルとテンプレートに含めます。

WWW プールの削除

プールを削除した場合、Cisco UCS Managerは、に割り当てられたアドレスを再割り当てしません。削除されたプールのすべての割り当て済みアドレスは、次のいずれかが起きるまで、vNIC または vHBA に割り当てられた状態のままになります。

- 関連付けられたサービス プロファイルが削除される。
- アドレスが割り当てられた vNIC または vHBA が削除される。
- vNIC または vHBA が異なるプールに割り当てられる。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope org <i>org-name</i>	指定した組織の組織モードを開始します。ルート組織モードを開始するには、 <i>org-name</i> として / を入力します。
ステップ 2	UCS-A /org # delete wwn-pool <i>pool-name</i>	指定された WWW プールを削除します。
ステップ 3	UCS-A /org # commit-buffer	トランザクションをシステムの設定に対して確定します。

例

次に、pool4 という名前の WWW プールを削除し、トランザクションをコミットする例を示します。

```
UCS-A# scope org /
UCS-A /org # delete wwn-pool pool4
UCS-A /org* # commit-buffer
UCS-A /org #
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。